

厚生労働省発薬食 0303 第 4 号
平成 26 年 3 月 3 日

薬事・食品衛生審議会会長
西島 正弘 殿

厚生労働大臣 田村 憲久

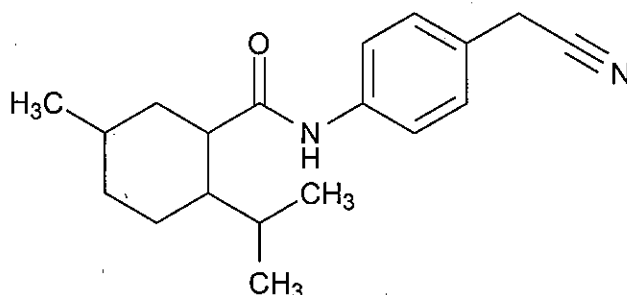
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和 25 年法律第 303 号）第 23 条の 2 の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

記

N-（4-シアノメチルフエニル）-2-イソプロピル-5-メチルシクロヘキサンカルボキサミド及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物からの除外について

N-(4-シアノメチルフエニル)-2-イソプロピル-5-メチルシクロヘキサンカルボキサミド及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物からの除外について



$C_{19}H_{26}N_2O$

CAS No. : 852379-28-3

名称 (英語名) N-(4-Cyanomethylphenyl)-2-isopropyl-5-methylcyclohexanecarboxamide
(日本名) N-(4-シアノメチルフエニル)-2-イソプロピル-5-メチルシクロヘキサンカルボキサミド

経緯

上記化学物質は、現在、毒物及び劇物指定令（昭和40年政令第2号）第2条第1項第32号の有機シアン化合物に該当し、劇物となるものであるが、今般、事業者より、原体の毒性データが提出され、劇性を持たないものであることが判明したことにより劇物から除外するものである。

用途

調合香料の原料

物理的・化学的性質

別添1を参照

毒性

別添2を参照

事務局案

N-(4-シアノメチルフエニル)-2-イソプロピル-5-メチルシクロヘキサンカルボキサミド及びこれを含有する製剤を、「劇物」から除外することが適当である。

【別添1】

物理的・化学的性質（原体）

項目	
名称	(英語名) N-(4-Cyanomethylphenyl)-2-isopropyl-5-methylcyclohexanecarboxamide (日本名) N-(4-シアノメチルフェニル)-2-イソプロピル-5-メチルシクロヘキサンカルボキサミド
CAS 番号	852379-28-3
化学式	C ₁₉ H ₂₆ N ₂ O
分子量	298.4
物理化学的性状	
性状	白～微黄色固体
沸点	>403°C (1013 hPa)
融点	148°C
密度	—
相対蒸気密度	—
相対比重	—
蒸気圧	<0.0001 hPa (25°C) OECD TG 104
溶解性	1 mg/L (20°C) (水)
引火性及び発火性	—
安定性・反応性	乾燥した換気の良い室内に密閉容器で 810 日
その他	Customs code : 2926.90

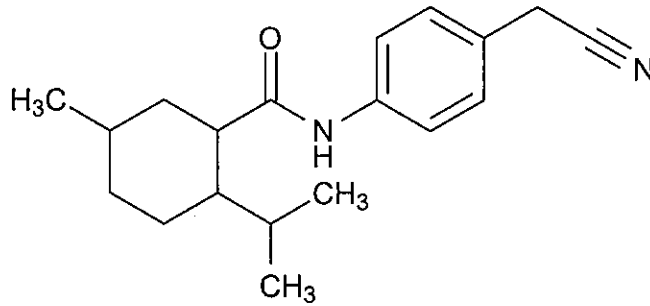
【別添2】

毒性（原体）

試験の種類	供試動物	試験結果	文献
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : >2000 mg/kg	OECD423 GLP 準拠
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : >2000 mg/kg	OECD402 GLP 準拠
急性吸入毒性 (ダスト)	ラット	LC ₅₀ : >5.17 mg/L/4hr	OECD403 GLP 準拠
刺激性	ウサギ	皮膚刺激性 : -	OECD404 GLP 準拠
	ウサギ	眼刺激性 : -	OECD405 GLP 準拠

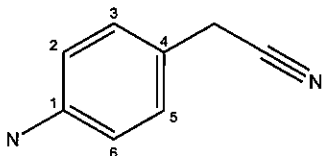
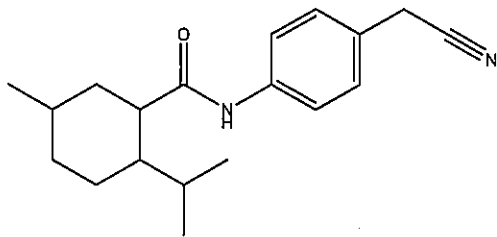
【名称資料】

N-(4-シアノメチルフェニル)-2-イソプロピル-5-メチルシクロヘキサ
ンカルボキサミド

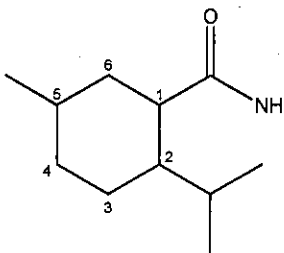


N-(4-Cyanomethylphenyl)-2-isopropyl-5-methylcyclohexanecarboxamide

<命名根拠>



N-置換第1アミドの窒素Nとの結合を1位とし4位に cyanomethyl 基を持つ6員環
C₆H₅のため、N-(4-Cyanomethylphenyl)- と表記する。



Cyclohexane 骨格に第1アミドが付き Cyclohexanecarboxamide、この位置を1とし、
2位に isopropyl 基、5位に methyl 基が付くので、
2-isopropyl-5-methylcyclohexanecarboxamide と表記する。

これらを合わせると、

N-(4-Cyanomethylphenyl)-2-isopropyl-5-methylcyclohexanecarboxamide

これを日本語に訳すると、

N-(4-シアノメチルフェニル)-2-イソプロピル-5-メチルシクロヘキサンカル
ボキサミド
と表記する。